

総説 (招待)

作物における性の進化：繰り返す破壊と再構築

増田佳苗<sup>1)</sup>・赤木剛士<sup>1,2)</sup>

(<sup>1)</sup>岡山大学環境生命科学研究所, <sup>2)</sup>JST-PRESTO)

Breeding Science 73: 95–107 (2023)



イネ節間伸長の分子メカニズム

永井啓祐・芦荻基行

(名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

Breeding Science 73: 108–116 (2023)

総説 (一般)

日本におけるアズキとダイズの栽培化～考古学のおよび分子生物学的な知見から～

高橋 有<sup>1)</sup>・那須浩郎<sup>2)</sup>・中山誠二<sup>3)</sup>・友岡憲彦<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup>農研機構遺伝資源研究センター, <sup>2)</sup>岡山理科大学基盤教育センター, <sup>3)</sup>帝京大学文化財研究所)

Breeding Science 73: 117–131 (2023)



アブラナ科作物における S ハプロタイプの収集—S ハプロタイプの最新リスト

山本雅也・石井朝子・小倉真里奈・赤沼 岳・朱 星宇・北柴大泰

(東北大学大学院農学研究所)

Breeding Science 73: 132–145 (2023)

原著論文

クロマトグラフィーストリップ法を用いた 8 種類の日本のカンキツ優良品種の品種特異的識別技術

岡本充智<sup>1,5)</sup>・門田有希<sup>2)</sup>・進藤彰子<sup>2)</sup>・竹内朋幸<sup>3)</sup>・遠藤朋子<sup>4)</sup>・重松幸典<sup>1)</sup>・高崎一人<sup>3)</sup>・藤井 浩<sup>4)</sup>・  
島田武彦<sup>4)</sup>

(<sup>1)</sup>愛媛県農林水産研究所果樹研究センターみかん研究所, <sup>2)</sup>岡山大学大学院環境生命科学研究所, <sup>3)</sup>株式会社ファスマック, <sup>4)</sup>農研機構果樹茶業研究部門, <sup>5)</sup>現: 愛媛県農林水産研究所農業研究部)

Breeding Science 73: 146–157 (2023)





